

# 安全データシート

改訂2版 2019年4月1日  
(2015年4月1日制定)

## 1. 製品及び会社情報 : 鋼材 (鉄筋コンクリート用棒鋼)

製品名 熱間圧延棒鋼  
・ JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材  
・ JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼  
・ JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼  
・ JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材  
・ JIS G 4052 焼入性を保証した構造用鋼鋼材 (H鋼)  
・ JIS G 4053 機械構造用合金鋼鋼材

会社名 朝日工業株式会社  
本社  
住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-5 Daiwa東池袋ビル  
電話番号 03-3988-2555 FAX番号 03-5396-7500  
埼玉工場  
住所 〒367-0394 埼玉県児玉郡神川町渡瀬2 2 2  
担当部門 埼玉工場 品質管理室  
電話番号 0274-52-5901 FAX番号 0274-52-6460  
緊急連絡先 埼玉工場 品質管理室

## 2. 危険有害性の要約

鋼材は鉄 (Fe) をベースに合金元素を添加した化学的に安定した物質である。  
但し、溶接、溶断、研磨、切削等の加工による、ヒューム、ダスト等は呼吸器、目他の粘膜を刺激する可能性がある。

GHS分類 : 分類基準に該当しない。

GHS : Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals  
(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

## 3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分 : 混合物 (鉄基合金)  
成分及び含有量 : 下表のとおりです。Mnについては鋼材検査証明書に記載  
CAS番号・ICSC番号・化管法番号・安衛法番号

	鉄 [Fe]	マンガン [Mn]	銅 [Cu]	ニッケル [Ni]	クロム [Cr]	モリブデン [Mo]	バナジウム [V]
含有量 (質量%)	99以下	2.0未満	1.0未満	1.0未満	1.5未満	1.0未満	1.0未満
CAS番号	7439-89-6	7439-96-5	7440-50-8	7440-02-0	7440-47-3	7439-98-7	7440-62-2
ICSC番号	-	0174	0240	0062	0029	1003	-
化管法*1政令番号	-	1種 412	-	1種 308	1種 87	1種 453	-
安衛法*2政令番号	-	550	379	418	142	603	-

注1) 成分の含有量は上表の範囲において製品の規格、種類によって異なる。

注2) 上表の成分の他に、珪素 [Si]、リン [P]、硫黄 [S] 等の微量元素を含む。

\*1 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

\*2 労働安全衛生法

CAS : Chemical Abstracts Service (化学物質登録システム)

ICSC : International Chemical Safety Cards (国際化学物質安全性カード)

## 4. 応急措置

ヒューム等が呼吸器の粘膜を刺激した場合 : 呼吸補助を行い医師の診断を受ける。  
ダスト、ヒューム等が目他の粘膜を刺激した場合 : 清浄な流水で洗眼し眼科医の診察を受ける。この他に必要に応じた応急処置と医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

鉄 (Fe) をベースに合金元素を添加した化学的に安定した物質であり、該当事項なし。

6. 漏出時の措置  
常態は固体で化学的に安定した物質であり、該当事項なし。
7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い：鋼材切断面、切削屑等による皮膚の裂傷防止、溶接、溶断等のアークによる火傷防止のため手袋を着用すること。  
重量物で安定性が悪いので荷崩れなきよう固定すること。  
保管：雨や水分が掛からないように保管すること。
8. 暴露防止及び保護措置  
常態では固体であり、化学的に安定した物質である。  
但し、溶接、溶断、研磨、切削等加工される時は、ヒューム、ダスト等を暴露しないよう適切に保護すること。
9. 物理的及び化学的性質  
物理的状態：一般的な環境下では銀白色の固体  
物理的性質 融点：1,440～1,535℃  
密度：約 7.85g/cm<sup>3</sup>
10. 安定性及び反応性  
爆発性、高圧ガス、引火性、可燃性、自然発火性、酸化性の危険該当事項なし。
11. 有害性情報  
人に対する鋼材としての有害性に関する有用な情報は現在のところなし。  
但し、合金元素単体での危険有害物質があるので2.項の但し書きの様な加工作業でヒュームがある濃度を超える場合には有害性を指摘される場合がある。
12. 環境影響情報  
鋼材としての環境影響情報は現在のところなし。  
但し、合金元素単体としては環境影響が指摘されている場合がある。
13. 廃棄上の注意  
鉄スクラップとして専門業者にて処理すること。
14. 輸送上の注意  
重量物で安定性が悪いので、荷崩れなきよう固定すること。  
雨や水分が掛からないように保護することが望ましい。
15. 適用法令  
労働安全衛生法、化学物質管理促進法
16. その他の情報  
参考文献：化学物質の危険・有害便覧（中央労働災害防止協会編）  
産業医学（日本産業衛生学会）  
記載内容の問い合わせ先：朝日工業株式会社  
埼玉工場 品質管理室  
電話番号：0274-52-5901 FAX番号：0274-52-6460

注)

本安全データシートは化学的に安定な取扱いを確保するための「参考情報」として提供するものです。  
当該製品を取り扱う事業者はこれを参考にして、自らの責任において取扱い及び加工内容の実態に応じた適切な処置を講じて下さい。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。